



産官学連携による 教育のしくみ

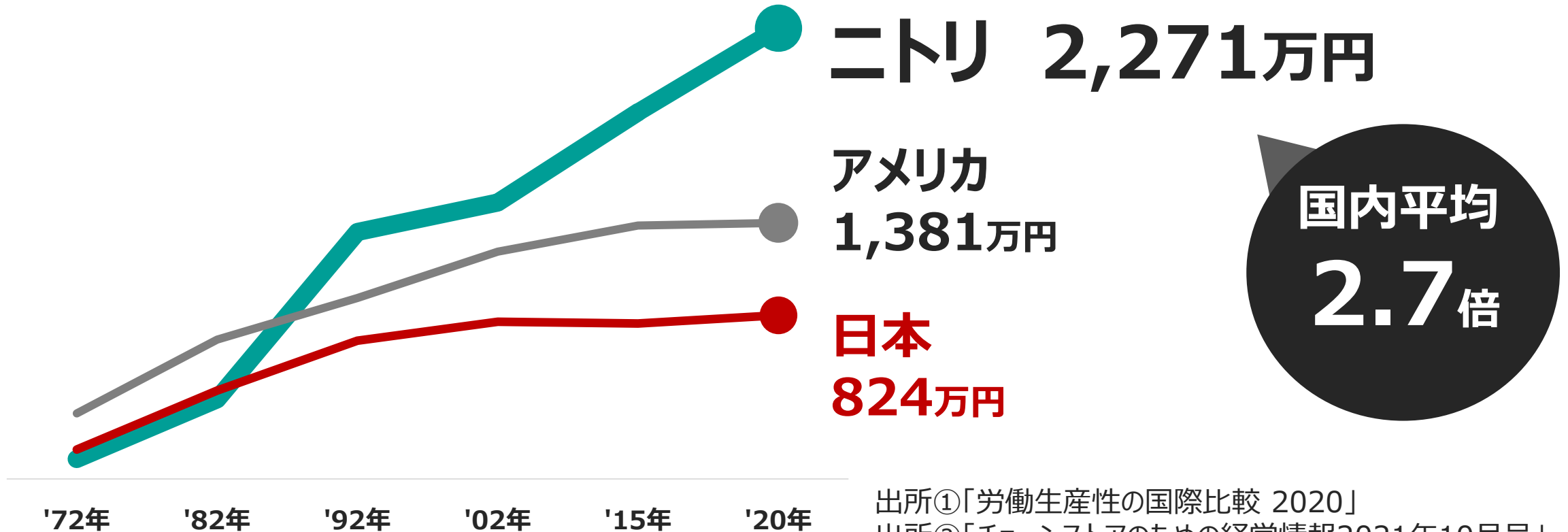
株式会社ニトリホールディングス
安孫子 尋美



ニトリグループの労働生産性

高い労働生産性により未来投資が可能に

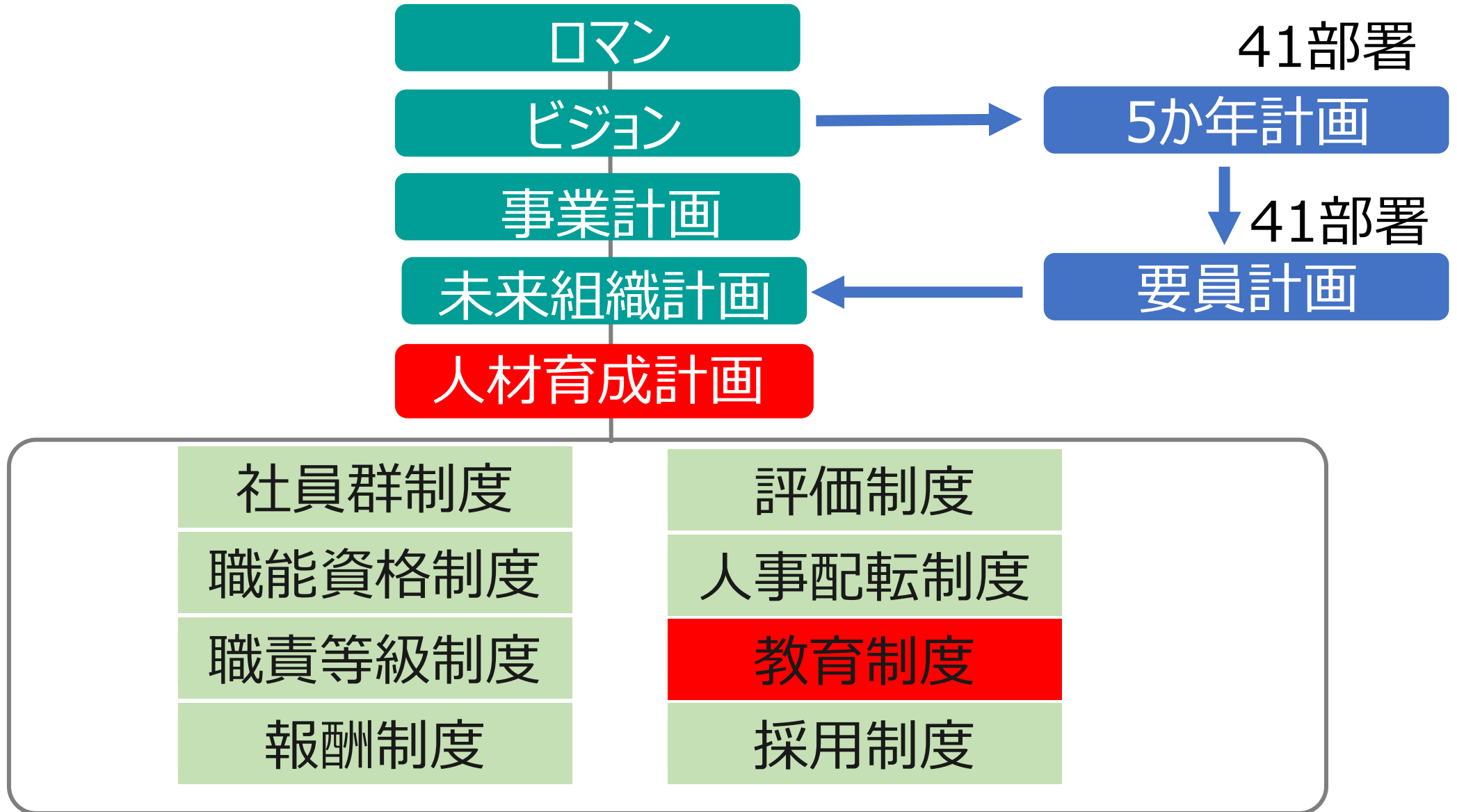
労働生産性 = 従業員 1 人当たりが生み出した売上利益高



出所①「労働生産性の国際比較 2020」

出所②「チェーンストアのための経営情報2021年10月号」

すべてはロマンから始まる





制度があり、運用のしくみがあり、浸透する

本部

41部署

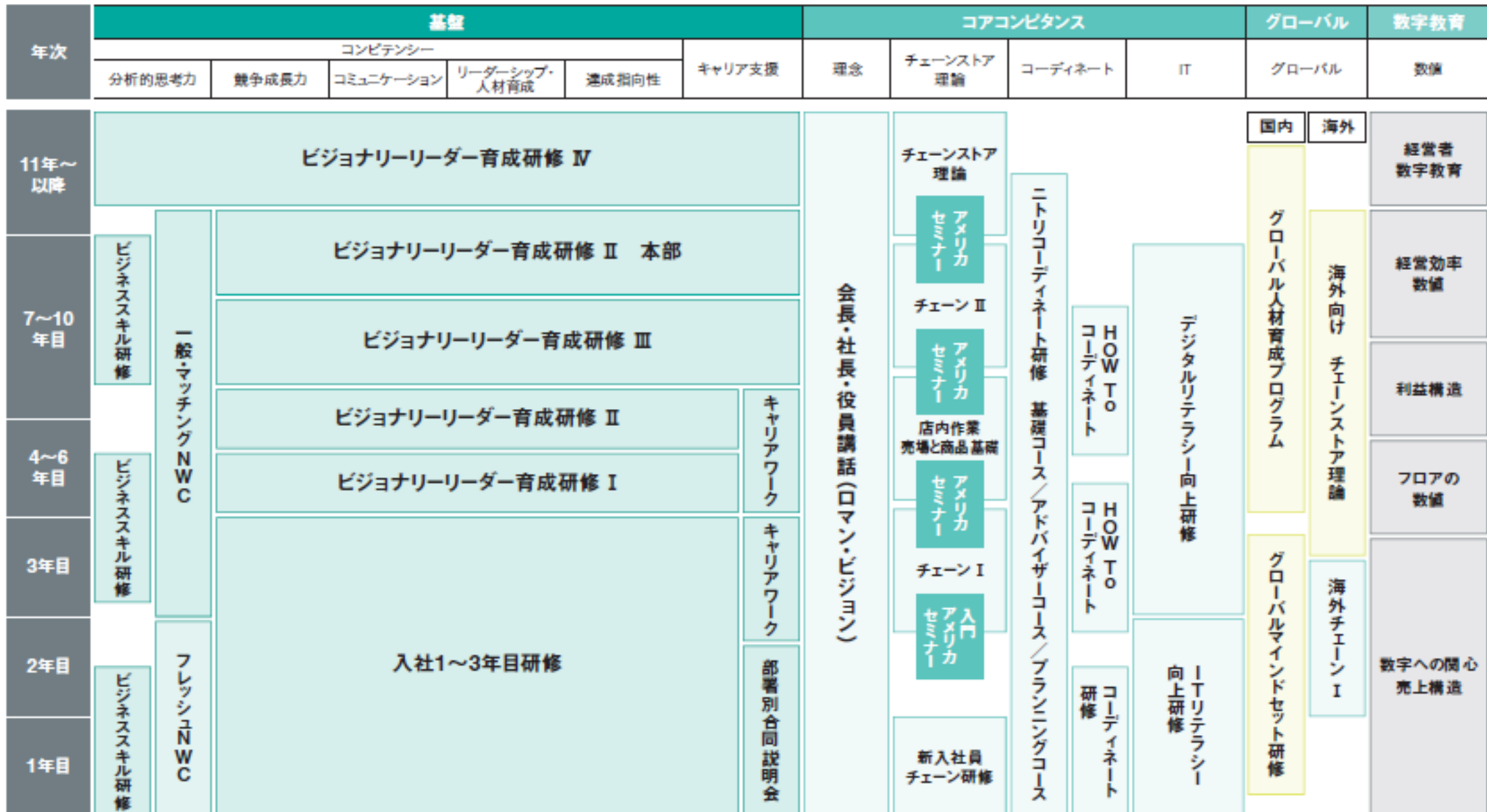
国内 739店舗

海外 97店舗

※2022年6月2日時点



教育体系図



「みらいIT人材」育成に向けた連携協定



SAPPORO



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



「北海道を元気に」 創業の地への恩返し

北海道・札幌の未来を担う、IT人材の育成を加速
→地域経済の活性化・労働生産性の向上



四者連携協定の連携項目

- ✓ データ駆動型の
新しい社会デザインに資する研究の推進
- ✓ 大学・大学院におけるデータサイエンス等の
高度情報科学分野の人材育成
- ✓ 小中学生・高校生など
若年層に向けたIT人材育成



「みらいIT人材」育成事業_令和3年度取組全体概念図



社会人

大学院生

大学生

高校生

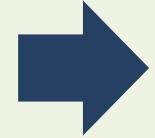
小中学生



ニトリと北海道大学が共同
で研究をおこなう
挑戦型研究



ニトリのテーマで公募し採択者
が1年間研究をおこなう
実践型研究



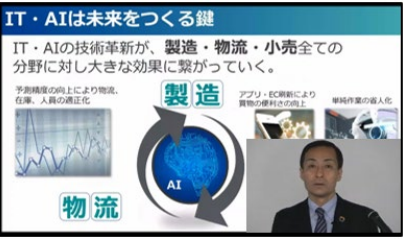
地域社会に向けた発信
NoMapsビジネスカンファレス

北海道大学寄附講座
「ニトリみらい社会デザイン講座」



札幌市

リードエンジニア
発掘・育成プログラム



北海道大学

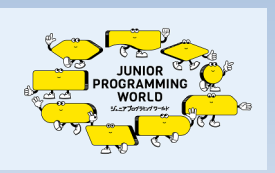
ニトリのデータサイエンスの活用事例を
全学部生を対象に講義
「情報学Ⅱ」



札幌市
G's CAMP YOUTH
(プログラミングでのモノづくり)



北海道
探究的な学習活動における
データサイエンス活用促進事業



札幌市
ジュニアプログラミングワールド
(小中学生とその保護者)



ニトリが北海道大学に研究データやテーマを提供し、研究員も派遣 産学連携により実践的な教育研究を推進

実践型研究

北海道大学における研究の発展や実用化を推進し
みらい社会をデザインできる人材を育成

- ✓ ニトリから研究テーマを提供
北海道大学教職員対象に公募
- ✓ ニトリから実データが採択者に提供され、寄附講座から1年間の研究費を助成
(個人情報情報は匿名化し提供)
- ✓ 令和3年度から学生の参画可能
- ✓ ニトリ社員の参画を通じて社内IT人材も育成

挑戦型研究

最先端のAI研究を社会実装するため
ニトリと北海道大学が共同研究



- ✓ 研究課題は「人の興味にあわせた暮らしをデザインする研究」
- ✓ ニトリが実験店舗を提供
- ✓ 社員を研究員として派遣し研究を通して高度IT人材育成
- ニトリ派遣研究員が国際学会で発表
(2021年1月)
- 特許出願 (2021年12月)

・ 画像内の人物は、研究グループのメンバーであり、掲載許可を得ている
・ 店内に設置する防犯カメラの目的外使用は、事前に告知し、ニトリ側で映像を個人が特定できないように加工した上で北海道大学に提供



北海道の高校生がおこなう探究活動（北海道教育委員会事業）に ニトリが実践的なIT・データサイエンス活用の知見を提供

高校生探究サミット（最終成果発表会） ～Inquiry with Data Science～

- ✓ 北海道の高校生が、地域課題に対しデータやITを使って解決策を提案する探究活動を実施
- ✓ 探究活動に取り組んだ39チームのうち1次審査を通過した12チームが最終成果発表会に出場
- ✓ ニトリホールディングス代表取締役社長白井俊之が記念講演をおこない、ニトリ特別賞を授与



（左上、左下） オンラインで発表をおこなう高校生
（右上） 株式会社ニトリホールディングス代表取締役社長 白井によるオンライン講演
（右下） 北海道知事賞を授与する鈴木直道北海道知事

似鳥国際奨学財団「みらいIT人財奨学金」



北海道大学と提携し、優れた研究業績をもつ
大学院生を対象とする給付型奨学金制度を創設

みらいIT人財奨学金目的

将来を担う
「みらいIT人材」
の育成を通じ
北海道の一層の
発展と飛躍に寄与

支援人数：
計20人

※2019年度～2022年度の累計

公益財団法人 似鳥国際奨学財団
MDS × 似鳥国際奨学財団

2022年度
ニトリみらい社会デザイン講座・似鳥国際奨学財団
北海道大学みらいIT人財
奨学生募集

北海道大学と公益財団法人似鳥国際奨学財団が、
将来を担う「みらいIT人材」の育成を通じた北海道の一層の発展と飛躍を目的として、
北海道の学術的地位の向上及び地方創生に貢献する優秀な大学院生に対する
給付型奨学金制度を令和2年度より創設しました。
両年度の募集を認めています。
令和3年度奨学生を募集することになりましたので、是非挑戦してみてください。

募集期間
令和2年 10月1日(木) → 11月30日(月)

必要書類の入手・提出先 所属部署の教務担当	募集人数 5名
給付期間 1人当たり最大2年間 ※給付期間の延長は不可です。	応募資格 下記の条件を満たす者に限られます。 ① 大学院修士課程または大学院博士課程の 修士課程に在学中の学生である者 ② 数値・データサイエンスに関する 研究に専念している者 ③ 同大学教員と後援団体に奨学金受給の 意向を表明している者 ※応募資格は、2022年度募集のみに適用されます。
給付金額 月額5万円	奨学金の 種類 数値・データサイエンス分野の 専攻大学院生限定

奨学金の
種類
数値・データサイエンス分野の
専攻大学院生限定

奨学金の
種類
数値・データサイエンス分野の
専攻大学院生限定

奨学金の
種類
数値・データサイエンス分野の
専攻大学院生限定

TOPIC

7月24日北海道大学の寶金総長をお迎えし
交流会を開催。研究発表や質問会などを
おこない学生が研究分野を越えて交流



2022年度みらいIT人財奨学生交流会

北海道大学 寶金総長から講評

デジタル人材育成 IT教育MAP

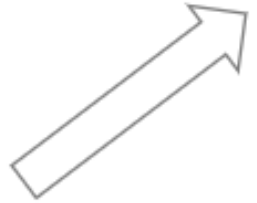
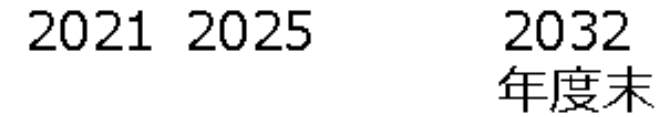


IT・デジタル人材 (人)

1000

700

350



期間	職能	職位	IT				ニトリ大学				Career Employee Journey		
			スキル	知識	経験	実践	基礎	コアコンピタンス	ヒューマンスキル	コンセプチュアルスキル	自己育成	書籍	管理ツール
11年目	PM	店長・大型	海外セミナー	AWS研修	データ分析実践	ビジネスリーダー研修IV	ビジョン	コミュニケーション	リーダーシップ	マーケティング	ES/SDS/SDGs	店長・AM	
6~10年目	PM	店長・中堅小	AWS研修	デジタル選抜研修	データ分析基礎	ビジネスリーダー研修III	向上心	ビジョニング	1on1サポート	チームマネジメント	ES/SDS/SDGs	店長・AM	
4~5年目	PM	リーダー	デジタル基礎研修III	デジタル選抜研修	デジタル活用	アメリカセミナー (トレーナー)	デジタル	デジタル	チームビルディング	計画力	ES/SDS/SDGs	店長・AM	
3年目	PM	リーダー	デジタル基礎研修II	デジタル選抜研修	デジタル活用	アメリカセミナー (リーダー)	デジタル	デジタル	チームビルディング	チームビルディング	ES/SDS/SDGs	店長・AM	
			デジタル基礎研修I	デジタル選抜研修	デジタル活用	アメリカセミナー (入門)	デジタル	デジタル	チームビルディング	チームビルディング	ES/SDS/SDGs	店長・AM	
2年目	PM	担当者	デジタル基礎研修I	デジタル選抜研修	デジタル活用	アメリカセミナー (入門)	デジタル	デジタル	チームビルディング	チームビルディング	ES/SDS/SDGs	店長・AM	
1年目			デジタル基礎研修I	デジタル選抜研修	デジタル活用	アメリカセミナー (入門)	デジタル	デジタル	チームビルディング	チームビルディング	ES/SDS/SDGs	店長・AM	

デジタル基礎研修III
・IT活用
・Office365利用

デジタル基礎研修II
・ニトリのIT
・統計学基礎

デジタル基礎研修I
・ITサポート

ITパスポート
取得取得率
KPI: 80%

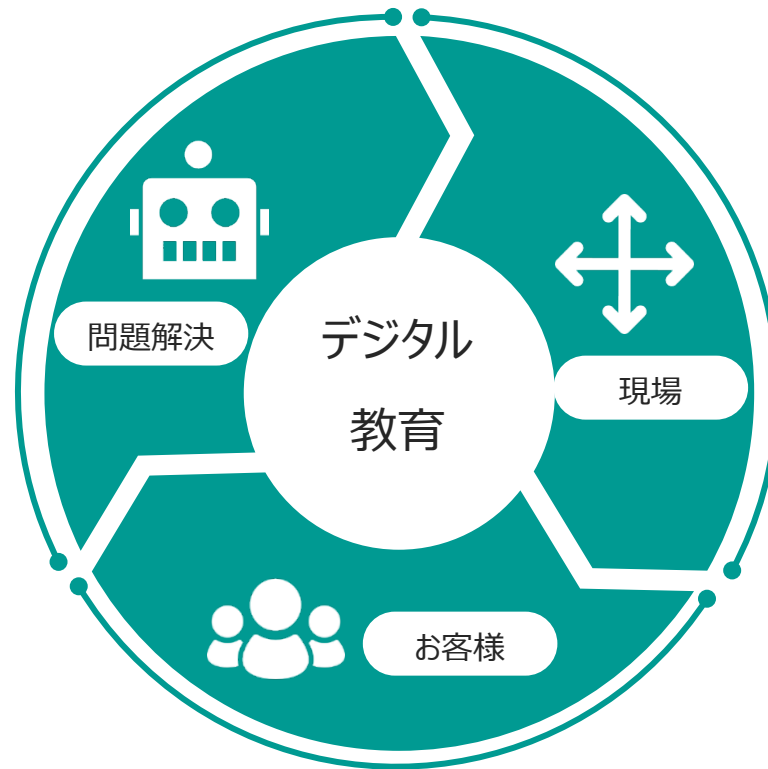
デジタルリテラシー教育終了時の人物像の言語化
デジタルの基礎（一般・ニトリ）を理解し、
戦・分・利にデジタルの思考を現場で活用できる状態





デジタル教育で現場が変わる

デジタルを活用して、もっとワクワクする未来へ



KAIKA Awards 2022 受賞
NWC (ニトリ・ワールド・サークル)

～個人と組織の成長を促す現場改善活動～

ITを駆使して現場がPDCAサイクルを
回せる環境を提供

豊かな暮らしを
世界の人々に提供する